

33 種のドロップハンドル系図



東京サンエスオリジナルドロップハンドルの系図、所謂血統について整理してみました。

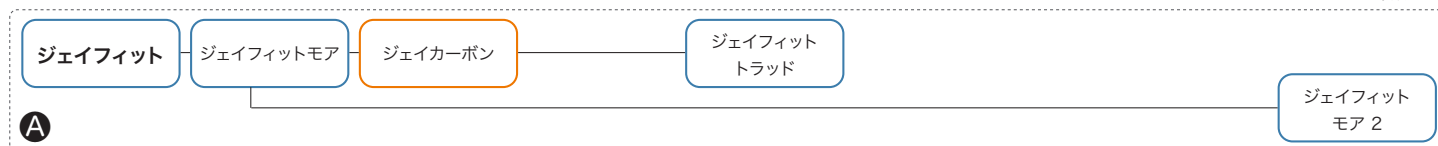
その始まりは 2005 年発表のジェイフィットからでした。血統は大きく分けて9系統 (A~I) があります。

2005 年

2010 年

2020 年～

※おおよその年数です



●A 元祖ジェイフィット直系となるアナトミックなドロップ形状とショートリーチ

▶安心のブレーキ操作と動作の少ない快適な乗車姿勢維持を実現します。

⑤ ショートリーチと自然なアールを描いたドロップに扁平化した快適なトップ

▶癖のない設計に絶妙な快適ポイントが設けられた万能モデルです。

◎ 繊細で複雑な形状変化の基礎となり
フィットゾーンやショートフレアを生み出す
▶ 視覚では気づき難い複雑な設計の中に
身体が快適と感じ取れる要素が詰まっ
ています。

④ クラシカルな傾斜とベンドしたトップを設定したネオクラシックスタイル

▶古典的な雰囲気ながらショートリーチ&ドロップとベンドにより快適性も実現しています。

● 超ショートドロップのフレアスタイルと細いドロップエンドによりフリップフロップも可能

▶程良いバランスのフレア角度を持ちフィールドを選ばないゆったりサイクリングに向いています。

F 比類ない唯一無二、固定概念を打破するボーダレスなハンドル設計

▶リーチやドロップの概念を打ち砕くようなフィールドを選ばない超快適モデルです。

● アールを大きく取ったドロップポジションはアグレッシブなライダー向け

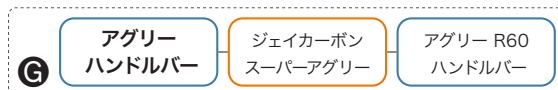
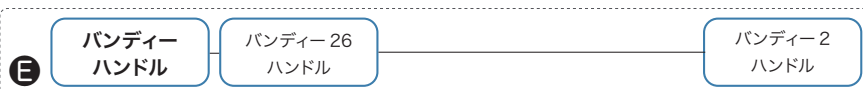
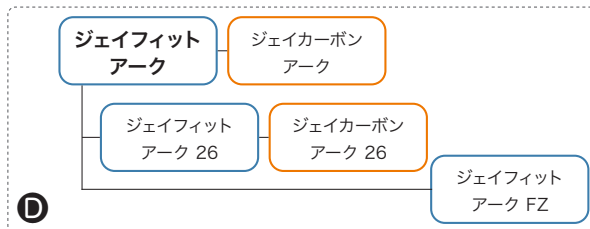
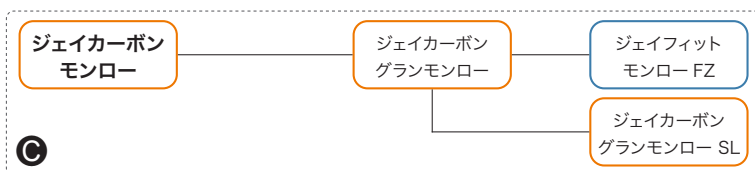
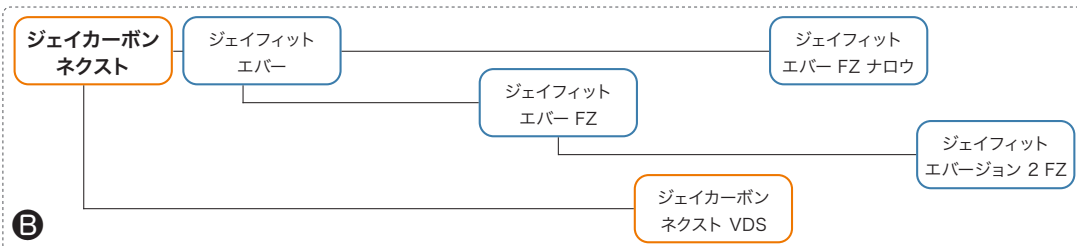
▶体幹が使えて基礎技術のしっかりした上級者向けのハイパフォーマンスモデルです。

H 飛び抜けた超ロングリーチでありながらショートドロップなスタイル

▶リーチ部分を多用するためにロングリーチに特化した個性的モデルです

● トップの快適性と2種の性格を持つドロップデザイン

▶圧倒的に快適なトップ形状に攻めと安らぎの相反するドロップ設計を施しています。



★ジェイフィットから始まり今日に至るまで33種類のドロップハンドルを発表してきました。系図で9系統に整理してみましたが、その関係性は直系や派生など複雑で、其々の特徴も文字言葉で伝えるには限界があると感じていますが、次回はドロップ部分での気になるブレーキレバーまでの距離の違いを説明していきたいと思います。

● 次回、月刊サンエスウォッチング Vol.57 は 2023 年 3 月 10 日（金）の配信予定です。

TOKYO SAN-ESU CO.,LTD.